



7月のがんサロンは、16日（水）に開催されました。テーマは「放射線治療～最新の高精度放射線治療について」でした。講師は、放射線腫瘍科科長の幸 慎太郎先生です。



## 1. 放射線治療について

放射線治療は手術療法、化学療法と並ぶがん治療の3本柱の治療であり、病巣部に放射線を集中して照射することにより、癌の治療を行います。近年の放射線治療の進歩、高齢化と共にがん治療患者さんの増加により、放射線治療患者さんは増加傾向にあります。

放射線治療は肺がん、乳がん、前立腺がんなどすべての癌腫において適応が検討され、ケロイドや甲状腺眼症など良性疾患においても放射線治療の適応となることがあります。また、がんを根治的に治療する目的で行われる根治照射、症状を緩和する目的で行われる緩和照射など、放射線治療はがん治療の様々な場面において行われる治療です。

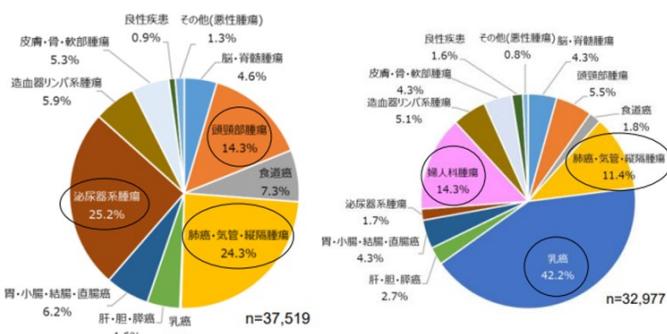
## 2. 放射線治療を受けるまでの流れ

放射線治療は基本的に内科や外科など主治医の先生から放射線治療の適応があるか当科へコンサルテーション（紹介）となるところから始まります。その後、当科で診察させて頂き、放射線治療の適応の可否を決定いたします。患者さんが治療を希望された場合は、位置決め（シミュレーション）CTを撮像し、どの範囲にどのくらいの線量を照射するかといったことを検討するために放射線治療計画を行います。その後、放射線技師による検証を行い、実際の照射といった流れとなります。

## 放射線治療のステップ



## 放射線治療の適応となる疾患



疾患別全件数割合(男性)

疾患別全件数割合(女性)

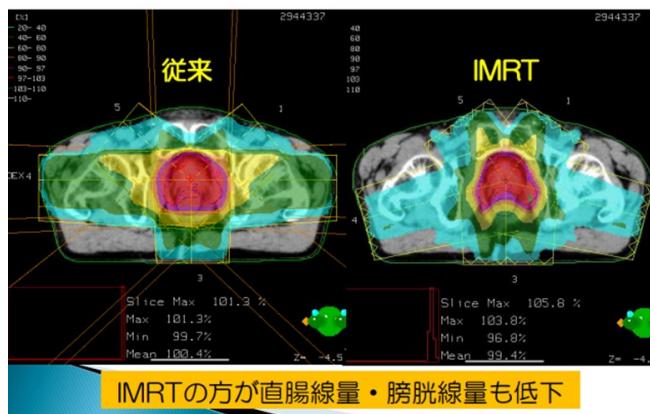
JASTRO放射線治療症例全国登録事業  
2023年度調査委報告書より



### 3. 高精度放射線治療について

近年、放射線治療技術の進歩は目覚ましく、当院は2012年3月に高精度放射線治療専用機であるトモセラピーを中国地方で初めて導入し、治療開始しました。同治療器では、病変部位に照射範囲を絞り、周囲正常組織へのダメージを極力減らす治療である強度変調放射線治療（IMRT）、毎回の位置ずれを極力減らす治療である画像誘導放射線治療（IGRT）、ピンポイント照射とも呼ばれる定位放射線治療（SRT）を行うことが可能となり、当院の多くの患者さんに対して同治療を行ってきました。

#### 前立腺癌 IMRT



### 4. 新しい治療器について

トモセラピーも丸13年を迎え、現在当科では放射線治療器更新の工事中ですが、この9月より更に進化を遂げた新治療器 Radixactを導入いたします。

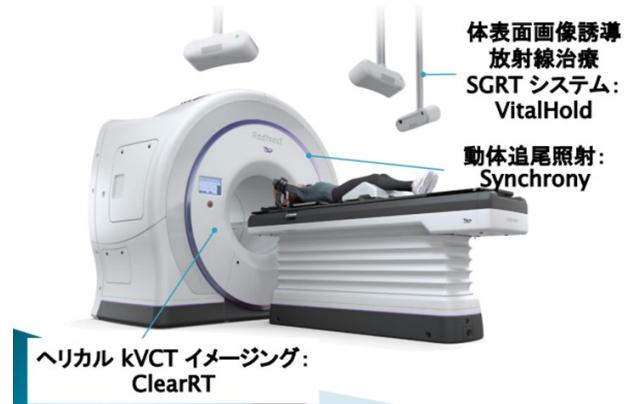
このRadixactは新機能として、

- ①体表面画像誘導放射線治療（SGRT）
- ②KVCTでのIGRT
- ③動体追尾照射

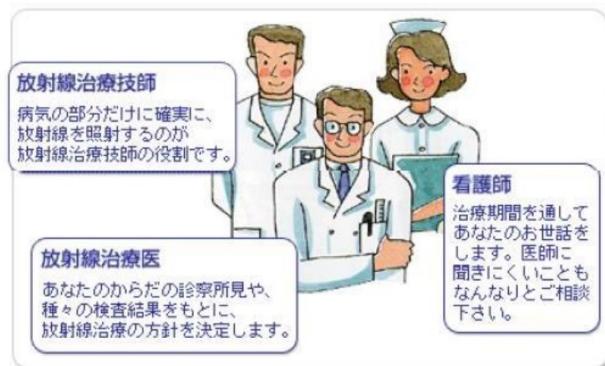
の3点が上げられ、高精度な放射線治療を今まで以上に正確にかつスピーディーに行なうことが可能となりました。

よりよい放射線治療を患者さんに提供できるよう今後とも診療を行っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

#### Radixact 新機能3点



#### 放射線治療室のスタッフ



【事前申し込み・お問い合わせ先】  
呉医療センター・中国がんセンター  
がん相談支援センター  
☎ : 0823-24-6358  
(直通電話)

寄稿：放射線腫瘍科科長  
幸慎太郎先生  
編集：がん相談支援センター